

ラベンダー色のデルフィニウム「試交15号」

需要の高いラベンダー色で、コンパクトで茎が硬い「試交15号」

背景・目的

- 宮崎県では、花色バリエーション豊富な総合農試育成のオリジナル品種を中心としたデルフィニウムの生産が盛んに行われ、市場から高い評価を受けています。
- 市場からは、冠婚葬祭で使用しやすく需要の高いラベンダー色の新品種が求められているため、茎が硬く取扱いやすいラベンダー色の品種を育成しました。

成果の内容

- 従来品種よりもコンパクトで茎が硬く、花色が淡青味紫色のデルフィニウム「試交15号」を育成しました。
- 品種特性は、がく片の花色が淡青味紫色（JHSチャート8303）で、花卉の主要な色が白色です。
- ラベンダー色の既存品種「カペラ」よりコンパクトで茎が硬く、扱いやすい品種です。
- 小花の密度が密で、がく片が散りにくく、商品性の高い品種です。

表1 「試交15号」と対照品種「カペラ」との主な特性比較

品 種	試交15号	カペラ
花 色 (JHSチャートNo.)	淡青味紫 (8303)	淡紫 (8302)
草 丈	中	高
茎の硬さ	硬い	柔らかい
小花の密度	密	粗
がく片(花びら)の散りやすさ	難	中



写真 「試交15号」の切り花

表2 1番花の平均開花日と2番花の平均開花日、開花本数

品 種	1番花	2番花	
	平均開花日 (月・日)	平均開花日 (月・日)	株あたり 開花本数(本)
試交15号	11月24日	1月13日	3.0
カペラ	12月2日	2月11日	3.4

成果の活用方法（又は期待される効果）

- 県内のデルフィニウム産地のラベンダー系品種の柱として採用されることが期待されます。また、花色と取り扱いの良さから、冠婚葬祭を中心に様々な場面での利用が期待されます。
- 普及対象地域 県内全域

留意点

- 6月に播種し、夜冷育苗後9月下旬に定植した場合のデータです。

関連普及技術カード：

研究期間：平成28年～令和元年